

池上ライブ!動画special 「世界を揺るがすウクライナ情勢」 教師用

紙面や QR コードの動画を参考に、以下の欄に記入してみよう。

I ロシアはなぜウクライナに侵攻したのか

ロシアがウクライナに侵攻した理由を、自分なりにまとめてみよう。

その際、次の三つの単語を使おう。【プーチン大統領 NATO 民族】

(例) ロシアのプーチン大統領は、ロシアとウクライナは歴史的に同じ民族だとする論文を発表しており、ウクライナがEUやNATOへの加盟を目指すことに対して、民族が分断され、ロシアへの軍事的脅威も高まると考えたため。

II 問われる国連のあり方

ロシアによるウクライナ侵攻にあたり、国連はどのような課題に直面しているかまとめてみよう。

その際、次の二つの単語を使おう。【安全保障理事会 拒否権】

(例) 安全保障理事会では、侵攻の当事国であるロシアが常任理事国として拒否権をもつため、この問題に対処できていない。

III 激しさを増す「情報戦」

ロシアによるウクライナ侵攻において、情報通信技術 (ICT) はどのような影響を与えているだろうか。

「情報の活用」「情報の発信」という二つの側面からまとめてみよう。

情報の活用	情報の発信
(例) ウクライナはアメリカなどと連携し、ロシア軍の動きに関する情報を正確に把握し、軍事作戦の立案に活用している。	(例) ロシア、ウクライナとも、自国にとって都合のよい情報を発信している面がある。

IV 私たちはどのように向き合うべきか

ウクライナに平和を取り戻すためにどのような取り組みが求められているだろうか。

「国際社会」「日本」「私たち」という三つの主体それぞれについてまとめてみよう。

国際社会	日本	私たち
(例) 国連などによる話し合いの場を設ける。	(例) ロシアに国際法などを守るように働きかける。	(例) ウクライナをめぐる状況に関心を持ち続ける。